

北海道独特の文化である「下の句かるた」を楽しむ、新春かるた交流大会



熱い戦いが繰り広げられたかるた交流大会

(洞爺湖スポーツクラブ主催)が、1月11日、あぶた体育館で4チームが参加して開かれました。

大会は、1チーム3人でリーグ戦を実施。

会場では、張り詰めた空気の中で、下の句を読む読み手の声が響き渡り、札を取り合う真剣勝負が繰り広げられました。優勝は佐藤チーム(佐藤一雄さん<入江1区>、竹澤絹子さん<青葉1区>、相澤芙美子さん<入江3区>)。

札を取り合う熱い戦い 新春かるた交流大会

老人クラブ新年演芸交流大会 楽しく余興を披露

新年演芸交流大会(洞爺湖町老人クラブ連合会主催)が、1月19日洞爺湖文化センターで開かれ、カラオケや踊りなど日ごろの活動を披露し、新春を祝いました。

老人クラブ会員が楽しみにしている年始行事で、今回は加盟14団体123人が参加しました。

毛利会長の開会あいさつ、真屋敏春町長、佐々木良一町議会議長らの来賓祝辞に続いて開演。

ステージでは、自慢ののどを披露する人や踊り、合唱、演奏など芸達者な皆さんの出し物が次々に披露され、会場から大きな拍手と声援が送られていました。



楽しく楽器演奏を披露した6区寿会の皆さん

地熱資源の可能性を探る 地熱の有効利用を考える講演会

洞爺湖町の地熱の有効利用を考える講演会(洞爺湖町地熱利用検討協議会主催)が、1月23日、役場防災研修ホールで開催され、103人が参加しました。

講演は、本年度西山地区で地熱調査を実施している北海道立総合研究機構地質研究所の高橋徹哉資源環境部長ら4人の町内外の専門家が講師となり行いました。

高橋部長は、北海道での地熱資源開発の現状と活用について解説し、これからの地熱資源活用事業の可能性について述べました。西山地区の地熱調査については、同研究所の田村慎主査が中間報告。洞爺湖温泉利用組合の四宮博専務理事は、同組合が進めている地



地熱の有効利用の話真剣に聞く参加者たち

熱開発の内容と将来の可能性について説明しました。



手際よく調理する参加者たち

洞爺湖町食生活改善推進員協議会が主催する「男性料理教室」が、1月24日健康福祉センターさわやかで開かれ、参加者がおからハンバーグなどの料理作りに挑戦しました。

町内の男性10人が参加し、同協議会のメンバーの協力を得ながら、おからハンバーグのキノコソース、にんじんご飯、小松菜とにんじんスープ春雨の3品を調理しました。

同教室は、高齢化の中で、家事に関わることが少ない男性に、独居になっても困らないようにと開催しています。

手際よく調理 男性料理教室



まちのわだい